

デジタル測定器

測定データの判定とトレーサビリティ

改善前

人による手作業

①測定データを目で確認



②用紙に手で記入



③PC入力・データ加工



<問題点> ・誤読、転記ミス、インプットミスなどのヒューマンエラーが発生
・情報共有のため管理部門でも作業が必要

改善後

自動測定・データ管理

測定器を無線式に変更



無線受信器による
自動送受信



<管理PC>
測定データの判定・履歴



ポイント

- 測定業務を人が作業し、測定データの記録を紙で行っている現場に最適。
- 測定器を無線式に変更し、管理PC導入で測定データの判定、トレーサビリティを実現。
- 測定や入力にかかる工数がなくなり、ペーパーレスでデータ精度も向上。